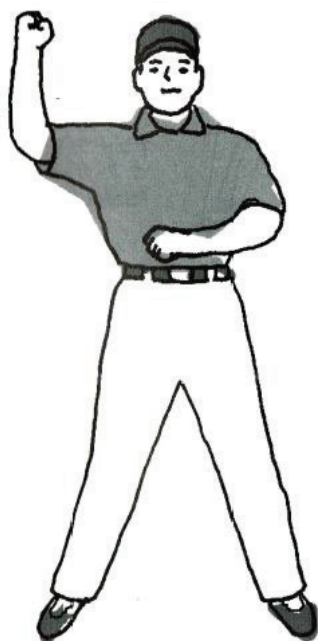
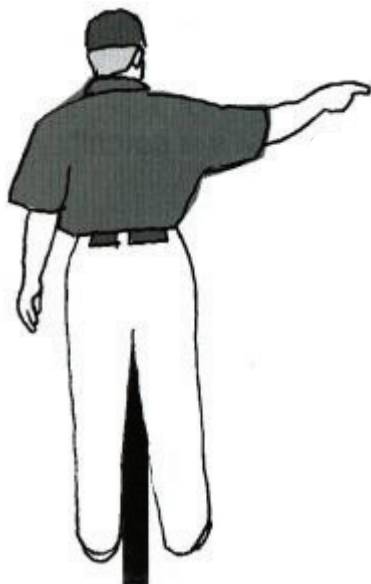


## 12、アウト



「アウト！」  
“He’s out!”

## 13、フェア、ファウル



「フェア！」  
フェアテリトリーを指さす。  
(ノーボイス)



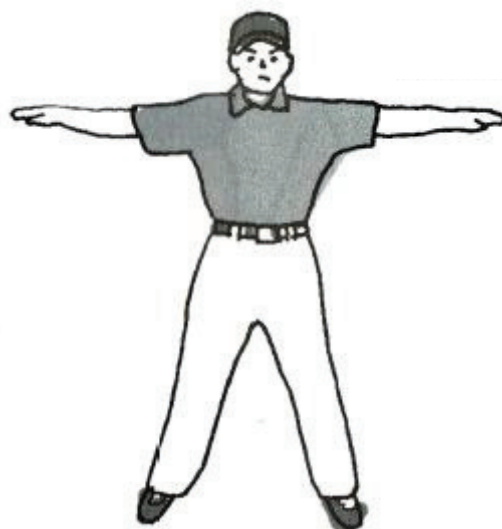
「ファウルボール！」

※ ライン際の打球に対しては、ラインをまたいでフェア／ファウルを判定する。

## 14、キャッチ、ノーキャッチ



「キャッチ！」  
“That’s a catch!”  
“Catch!”



「ノーキャッチ！」  
“No catch!”

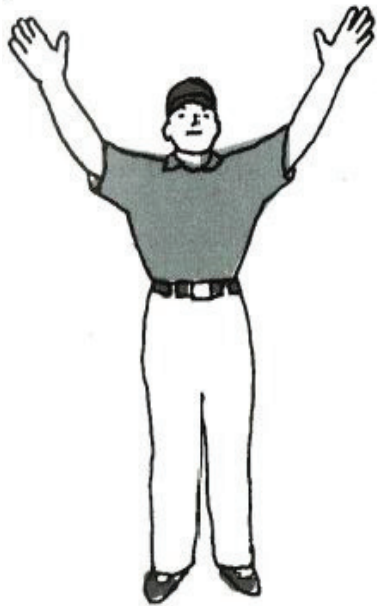
## 15、ライン付近の飛球

ライン付近の飛球で、野手はその飛球に触れた場合には、まず先にフェア地域またはファウル地域のどちらで触れたかを指さして明示する（地面と平行に出す）。

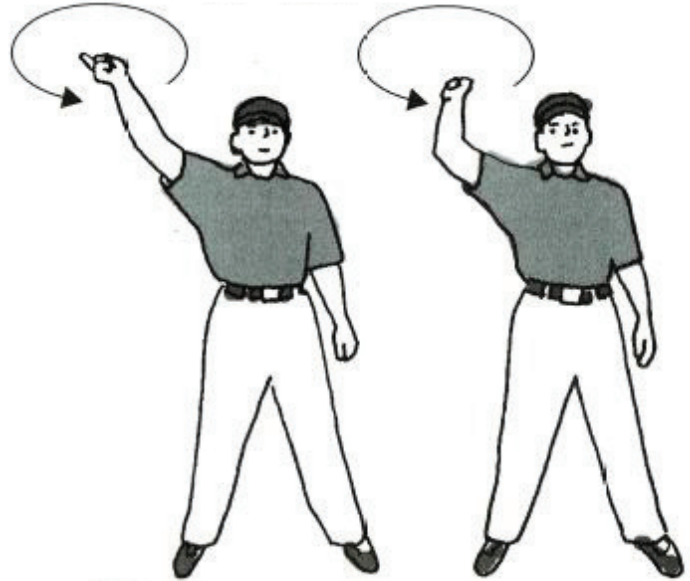
その後、プレイの状況を確認して、キャッチ、ノーキャッチまたは“ファウルボール！”の判定をする。

## 16、エンタイトル・ツーベース、 ホームラン

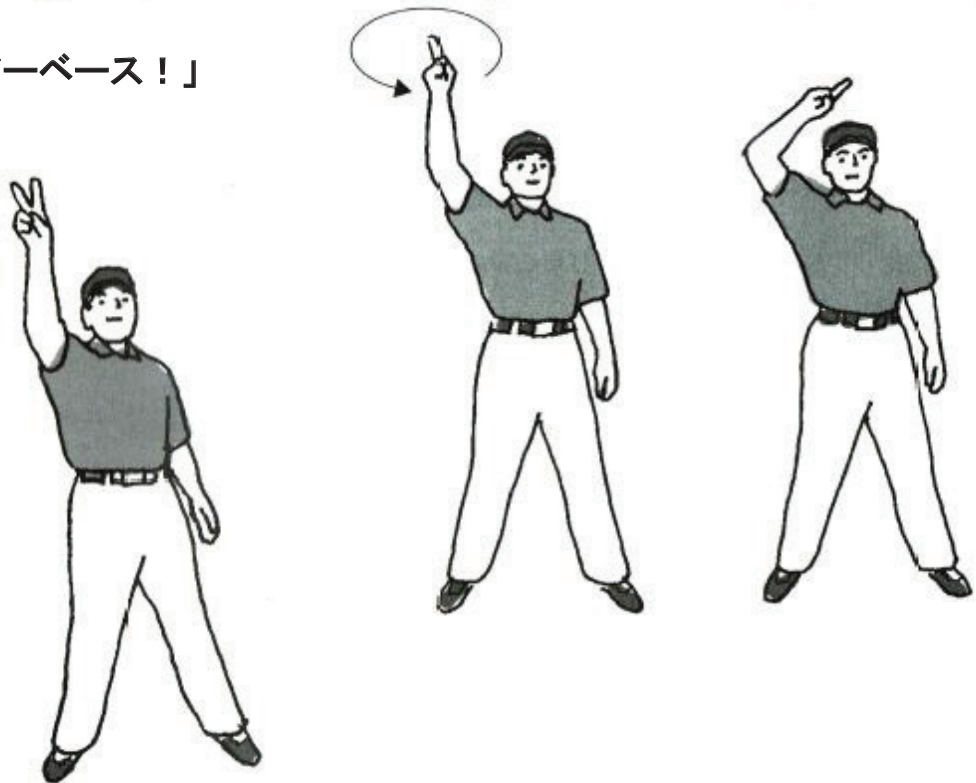
エンタイトル・ツーベース  
「タイム！」



「ホームラン！」



「ツーベース！」

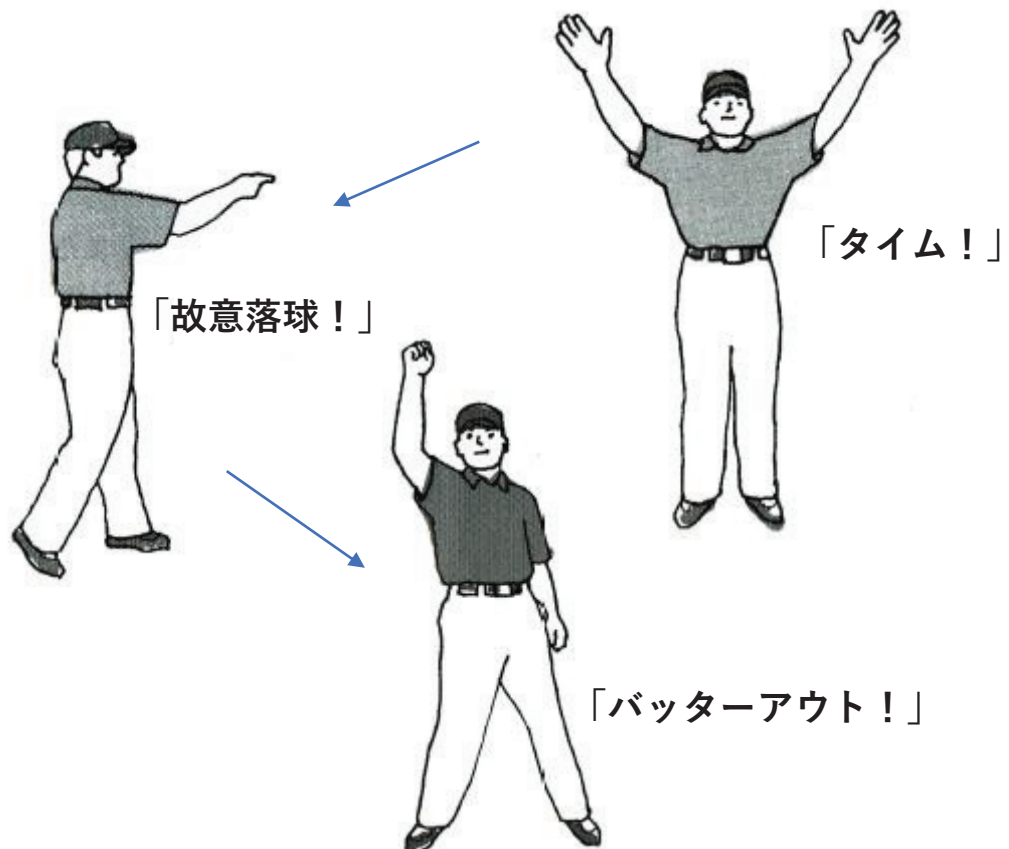


## 17、打撃妨害

- (1) 球審は左手で捕手を指さし「インターフェア」(That's interference!)と発声し、プレイを見守る。
- (2) 妨害にかかわらずプレイが続けられた場合は、プレイの進行を良く見極め、プレイが一段落した後に「タイム」をかけ、ダイヤモンド内に踏み込んで右手で捕手を指さし「インターフェア」を宣告し、規則に則つた適切な処置をとる。  
※「規則に則つた適切な処置をとる」とは、「打撃妨害の措置を適用したうえで、攻撃側の監督の選択権を待つ」ということである。
- (3) 処置後、球審は公式記録員に向かって左手甲を右手でたたき、「インターフェア」があったことを知らせる。
- (4) そして攻撃側の監督に、プレイの生かすかあるいは妨害によるペナルティの適用を望むかをただちに選択させる。
- (5) 選択の申し出がない場合は、打撃妨害の処置にてプレイを再開する。

## 18、故意落球

- (1) インフィールドフライの判定と同様、原則として一番よく見える位置にいる審判員が「故意落球」を宣告する。
- (2) まず、「タイム!」、野手に向かって右手をポイントして「故意落球!」を宣告し、そして打者に「バッターアウト!」を宣告する。



## 19、打者の守備妨害(盗塁のとき)

投球の判定をした後、  
“That’s interference!”  
「インターフェア」(走者がアウトになった  
場合は妨害はなかったものとみなされ)



走者がセーフ  
またはランダ  
ウンになった  
らただちに  
「タイム！」



マスクは左手に、右手  
で(打者を指さして)  
「インターフェア」を  
宣告する



「バッターアウト！」  
(アウトを宣告した後、走者を  
妨害発生の瞬間すでに占有して  
いた塁に戻らせる)

※ すでに三振でアウトになった打者が、守備妨害をしたときは、走者もアウトにする。

## 20、反則打球

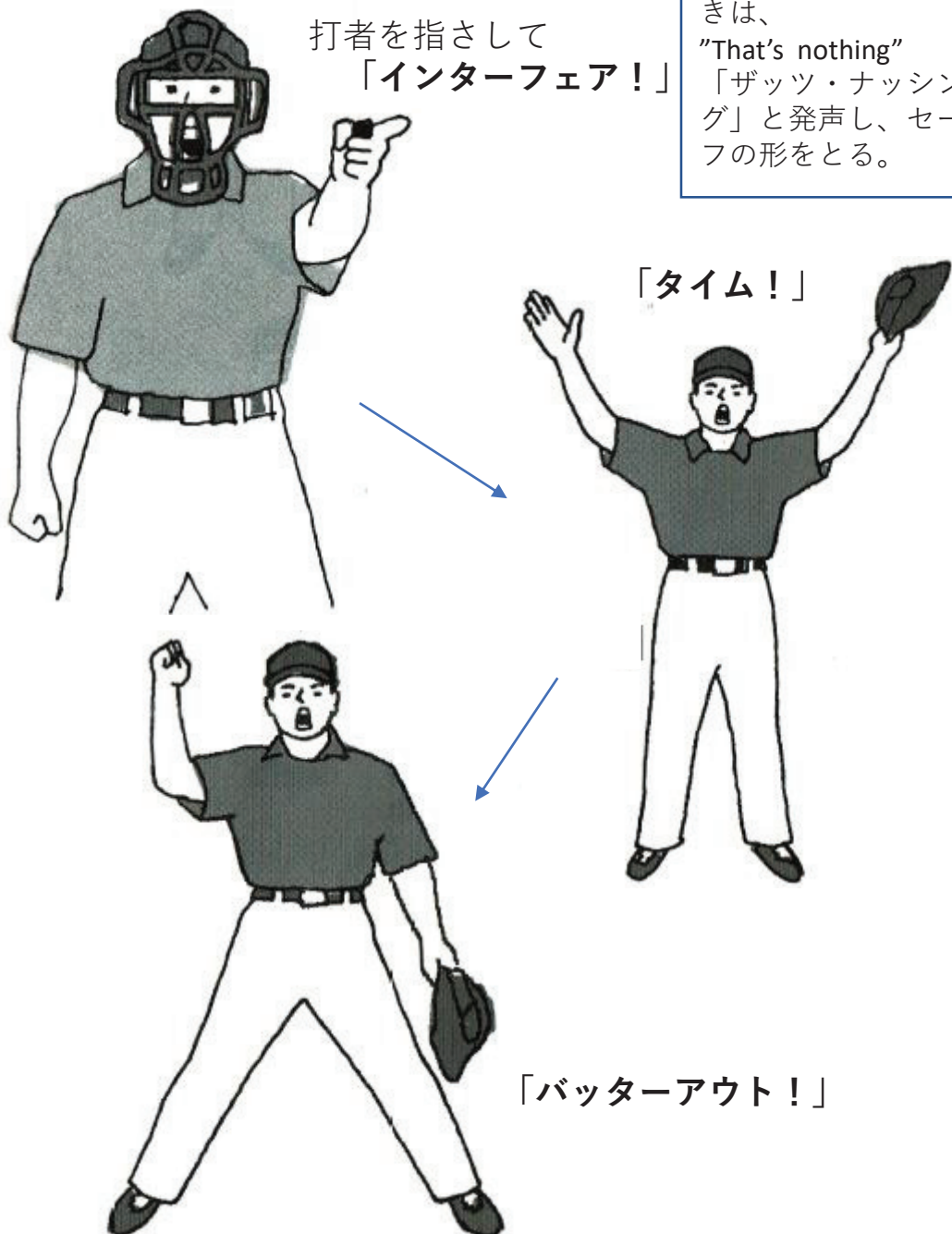
### “Illegally Batted Ball!”

打者が片足または両足を完全にバッターボックスの外に置いてバットにボールを当てた(フェアかファウルかを問わない)場合、球審はただちに打者に対して“**Illegally Batted Ball! He’s out!**” (「反則打球！打者アウト！」)を宣告する。

※スクイズのケースで、反則打球があった場合、球審は打者にアウトを宣告したあと、本塁に向かってきた三塁走者を三塁に戻す。

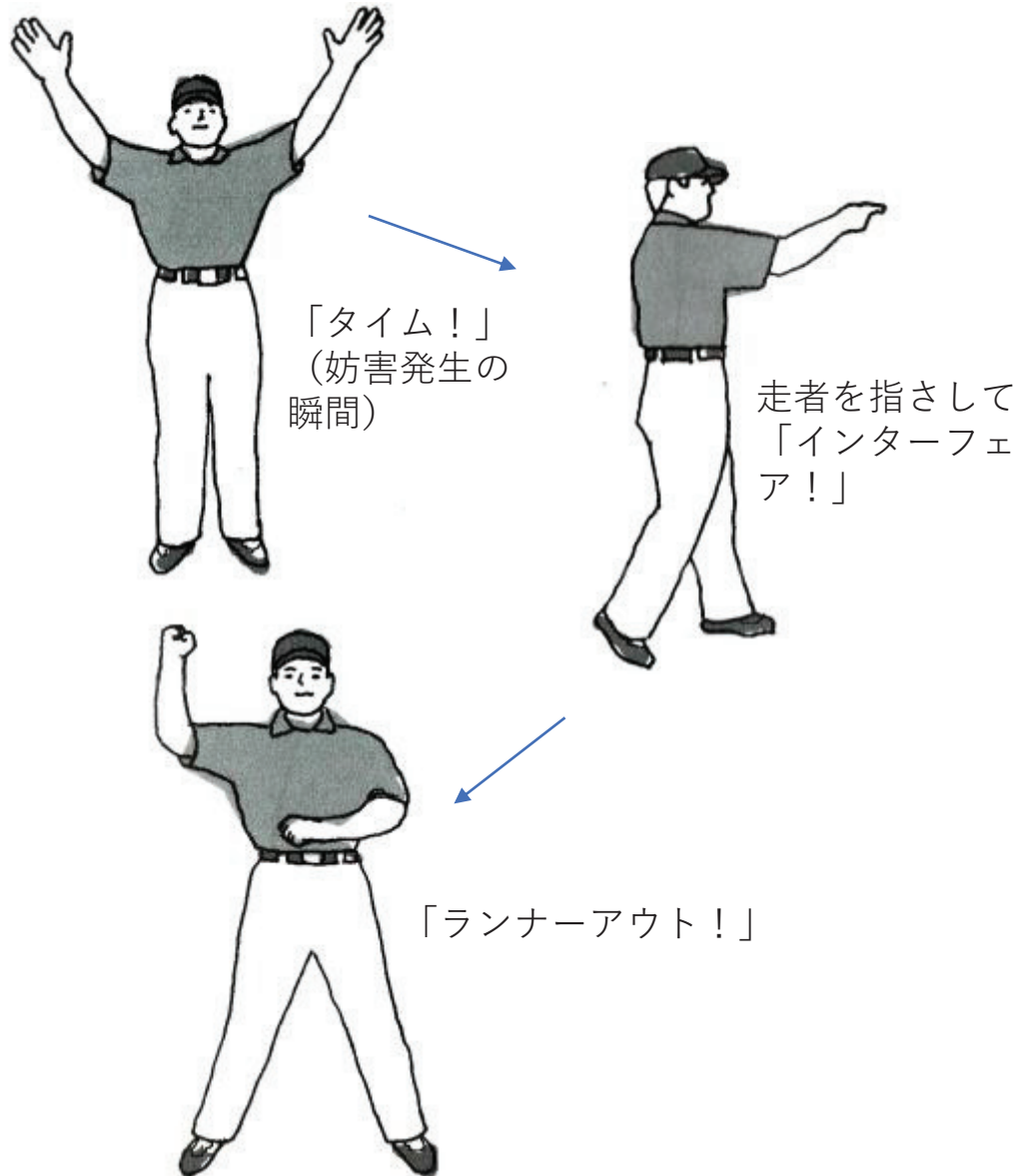
## 21、打者走者の守備妨害

### “That’s interference!”



## 22、走者の守備妨害

“That’s interference!”



## 23、走者の追い越し

“That’s Passing! He’s Out!”

走者の追い越しがあったら、直ちに当該審判員は追い越した走者を左手でポイントし(指さし)、右手で“That’s Passing! He’s Out!”(「追い越し! 走者アウト!」)を宣告する。

※ボールインプレイ中に起きた行為(たとえば、悪送球、ホームランまたは柵外に出たフェアヒットなど)の結果、走者に安全進塁権が認められた場合にも、本項は適用される。逆走の場合でも常に後位の走者がアウトになる。

## 24、オブストラクション(a)項

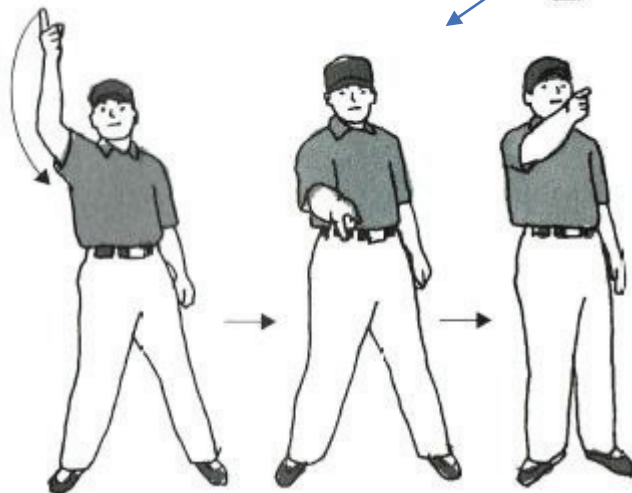
“That’s obstruction!”



ただちに  
「タイム！」



走塁を妨害した  
野手を指さして  
「オブストラク  
ション！」



(妨害を受けた  
走者に対して)  
進塁を支持する

## 25、オブストラクション(b)項

“That’s obstruction!”



走塁を妨害した  
野手を指さして  
「オブストラク  
ション！」



すべてのプレイが  
一段落してから  
「タイム！」  
その後、走者の  
不利益を取り除く  
よう適切な処置を  
とる（妨害を受け  
た走者に対してど  
の塁まで進塁でき  
るかを指示する）。



## 26、インフィールドフライ

シグナル インフィールドフライのケースであることを確認し合う



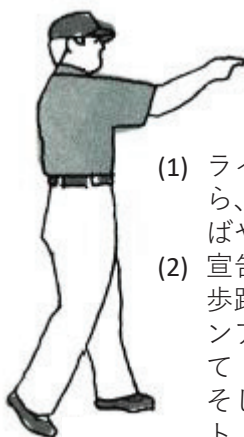
「インフィールドフライ！」  
“ Infield fly Batter is out ! ”

※ファウルライン上の  
飛球の場合  
“ Infield fly , if fair ! ”



「バッターアウト！」

## 27、ラインアウト

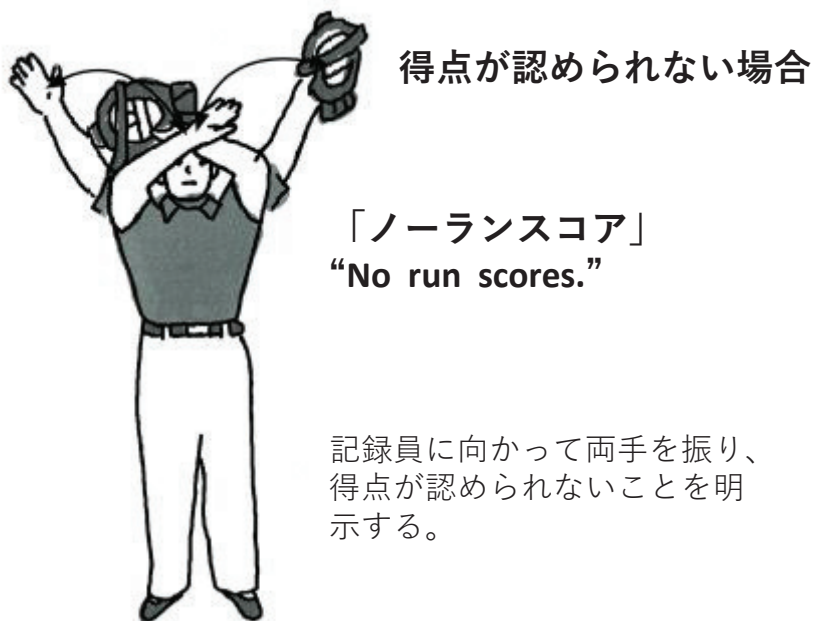


- (1) ラインアウトが発生したら、走者に近い塁審がすばやく宣告する。
- (2) 宣告は、走者のほうに一步踏み込んで右手でラインアウトの地点を指さして「ラインアウト！」、そして「ランナーアウト！」を宣告する。



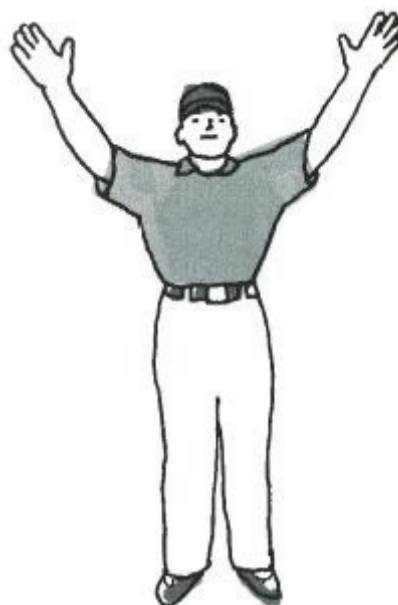
「ラインアウト！  
ランナーアウト！」  
“ Out of the  
baseline.  
He is out. ”

## 28、タイムプレイ



## 29、観衆の妨害

「タイム！」



右手で左手首を握って観衆の妨害があったことを示す。

(ノーボイス)

球審は妨害がなかったらどうなったかを判断して、その後の処置をとる。